

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発行●新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所
住所●埼玉県所沢市弥生町 2996-6 山口ビル1F TEL/FAX 04-2994-3212
発行日●2004年(平成16年)7月25日

VOL.27



切り絵 毛利将範

夏本番の8月、皆さんいかがお過ごしでしょうか？
暑い暑いと平日は極力外出を控えたり、休みの日には一日中クーラーの効いた部屋に居たりしてはいませんか？

もしもそんな方がいるようでしたら、どうぞ、新河岸川流域内各支川のイベントに参加してみてください。身近な川の河原や川沿いは意外に涼しく、見慣れない魚たちや鳥たちとの出会いなど、新たな発見があるかも知れません。また、元気のいい運営スタッフを見ていると、それだけで暑さも吹っ飛んで元気が湧いてくるかも知れません。とにかく楽しいこと請け合いです！皆さんの参加をお待ちしています！

目次

- P2-3 今年も快調 リレーフェスティバル！
「7月の川まつり×4つをレポート」
- P4-6 特集：柳瀬川見学会・交流会
- P7 柳瀬川・野鳥ウォッチング&水族館
- P8 流域イベント・インフォメーション
新所沢事務所通信

新河岸川流域 **川まつり** は今年も快調発進!

今年のリレーフェスティバルは、落合川の「第11回 わくわく川掃除&川あそび」からスタートです。どの川まつりも天気にも恵まれ、多くの人々が参加してくれているようです。きっと川の魅力を再発見した人が、一人また一人と増えていることでしょう! ..「里川」の今号では、7月の4まつりを紹介します。

落合川「第11回 わくわく川掃除&川あそび」

7月18日、晴天の日曜日に地域住民を中心とする約600人が参加した川まつりはイベントも盛りだくさんです。実行委員長の菅谷さんの挨拶で幕を開け、午前中は落合川と本川である黒目川の2班に分かれての川掃除、午後からは両岸に竹を渡した川渡りやタモ網を使った魚取り、ゴムボート乗り等の川遊びを行いました。会場には日よけテントの設営の他、飲み物や食べ物の模擬店も出店、お昼には豚汁が参加者全員にふるまわれる中、太鼓の演奏や、東久留米市長さんからの挨拶などもありました。

今年で11回目となる落合川の川まつりでは、第1回の時に無邪気に川で遊んでいた子供たちが、今では運営スタッフとして参加しているとのこと。川遊びをとおして地域と川との関わりを引き継ぐ人が育っているのですね。これから先も10年、20年と続けていって欲しいです。



まずは参加者全員で川掃除です。



風船の打ち上げを合図に川あそびのスタートです。



ゴムボートに乗る子も押す子も楽しそうですね!



何が取れるか楽しみです!

富士見江川「エコ探検隊 ~江川のサカナ~」

海の日の祝日なので、川でのイベントはいかにも思いきや、この川まつりにも家族連れを中心に多くの参加がありました。早速、魚を入れるビニール袋を手にもって川に入ります。魚たちが隠れているであろう低水路の草を足で踏みつけ魚を追い出しタモ網ですくい取るのですが、時には川底に足をとられたり、「ヌルヌルして気持ち悪い」と言いながらも、参加者は皆、楽しそうに魚とりを続けています。

1時間後に取れた魚を水槽に入れ、魚類調査のスタートです。リーダーの小林さんが演者の魚たちと観客の子供達を巧みに操りながら、魚の種類や特性、見分け方などを説明していきます。今回はドジョウ、ギンブナ、メダカ、ウキゴリ、ハゼ、モツゴ、ナマズの7種が確認できました。生息する魚の種類からは決してきれいな水質とは言えないようですが、それでも参加した皆さんは、魚や水生生物の多さに驚いている様子でした。



「そっちは何が取れたの?」と袋の中身を確認します。



堤防上のお母さん!「ドジョウが取れた!」と袋を振ります。



シリビレが長方形ならメダカだよ!



他の川の「川まつり」にも参加してね!

東川「東川・川まつり ~身近な川調べ~」

夏休みになって最初の日曜日ということもあってか、沢山の参加者でにぎわいました。今年で2回目のこの川まつり、実は4、5年前から始めたごみ拾いがきっかけだそうです。川のごみを拾うならついでに水質も調べよう、水質を調べるなら生息する魚も調べようと、その内容が増えてきたところに、新河岸川流域の川づくりの団体等からの勧めもあって、昨年からはこれらと川まつりを結びつけ実施することになったと東川を愛する会の越阪部さんは語ります。

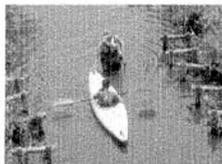
そんなエピソードもあって、川まつりの開会の前には必ずごみを拾います。川沿いの中学校の生徒さんが時々川のごみを拾ってくれているようですが、それでも少なくはないごみが集まりました。そして、お待たせしました「川まつり」の開会です。パックテストを使った水調べ(水質調査)や、魚とり&さかなの教室、ボートやカヌーを使ったふね遊びなどイベントも盛りだくさん。2回目とは思えぬ充実した内容と運営には驚かされました。



まずは取り方の見本から。こうやって魚を追い込むんだ。



パックテストで水調べ! CODはどれくらいかなあ?



こちらカヌーの初体験! こりゃ思ったより難しいぞ!



この魚がなんだかわかりますか?

柳瀬川「第4小学校サタデースクール ~せせらぎ探検隊~」

7月のとりを飾るのは「第4小学校サタデースクール ~せせらぎ探検隊~」です。今回の目玉は何といっても「段ボールボート遊び」です。1週間前(7月23日)に親子で作った段ボールボート&ペットボトルボートの状況を確認しつつも柳瀬川へと浮かべてみます。さて、航行の具合はいかがなものでしょうか? ここのところの晴天続きで水深が浅かったこともあり、ペットボトルの方は底を擦ってしまいました。段ボールの方は(乗り手の体重にもよりましたが)とても快適に進みました。来年はオール(こぎ手)が必要かも知れませんが!

清瀬市第4小学校のサタデースクールでは、サッカーや囲碁、雑木林の探検などを実施しているようですが、その内のひとつ「せせらぎ探検隊」では、川の掃除や魚とりなどを定期的に行っており、この川まつりもそんな活動の一環でもあるそうです。「まだまだ3回目ですが、ゆくゆくは市のまつりに位置づけてもらい、地域センターなどを活用したいです」と主催者の神沢さん。そうすればトイレや休憩、救護なども受けられて、今よりも安心とのことでした。



小学校から川まつり会場まではバスで移動します。



うひゃひゃ~楽しいよお~! で、ピースサインです!



ペットボトルボートはメンテナンスが大変です。



こちらは浅瀬に乗り上げていわゆる「座礁」でしょうか?



見どころ満載の柳瀬川

去る7月3日(土)に柳瀬川見学会および交流会を実施しました。不老川に続く第二回は見どころが沢山ある柳瀬川です。当日は時間の許す限り精力的に見学し、見学の後にはこちらも第二回目となる交流会を実施、数多くの意見が交わされました(交流会の様子は6頁参照)。



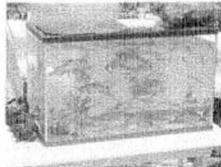
柳瀬川上流部の天然河岸(大鐘橋)と西ヶ谷戸橋付近を見学



曼荼羅淵(まんだらぶち)河畔林が残っています。



瀬の森の柳瀬川で泳ぐ子供みんなでピース楽しそうです。



瀬の森の魚たちモッコやアユも生息しています。

見学ポイントはこちら!

柳瀬川上流部の天然河岸(所沢市)

大きく湾曲した河道が各所に残されており、柳瀬川固有の貴重な河畔林や天然河岸が各所に残存しています。また、国土交通省土木研究所の天然河岸研究のフィールドともなっています。

曼陀羅淵(東村山市/所沢市)

全国的にも有名な、かつて伝承「河童の詫び証文」があり、その昔は約10mの淵があったといわれています。東京都の調節池が隣接し、周辺は野鳥のサンクチュアリ化しています。河畔林や天然河岸が残存し、災害補修工事をめぐって市民と埼玉県が対話して工事が行われました。

瀬の森(東村山市/所沢市)

アニメ映画監督、宮崎駿氏の寄付により保全された緑地と柳瀬川です。市民管理により植生等の維持が行われています。柳瀬川には河畔林や天然河岸が残存しており、上流部とともに土木研究所の天然河岸研究のフィールドになっています。

柳瀬川・空堀川合流点周辺(清瀬市/所沢市)

柳瀬川には湾曲河道と河畔林や天然河岸が残存しています。川づくりに対して市民からの提案が行われるなど、河川管理者との対話が建設的になされています。

金山橋周辺・金山調節池(清瀬市)

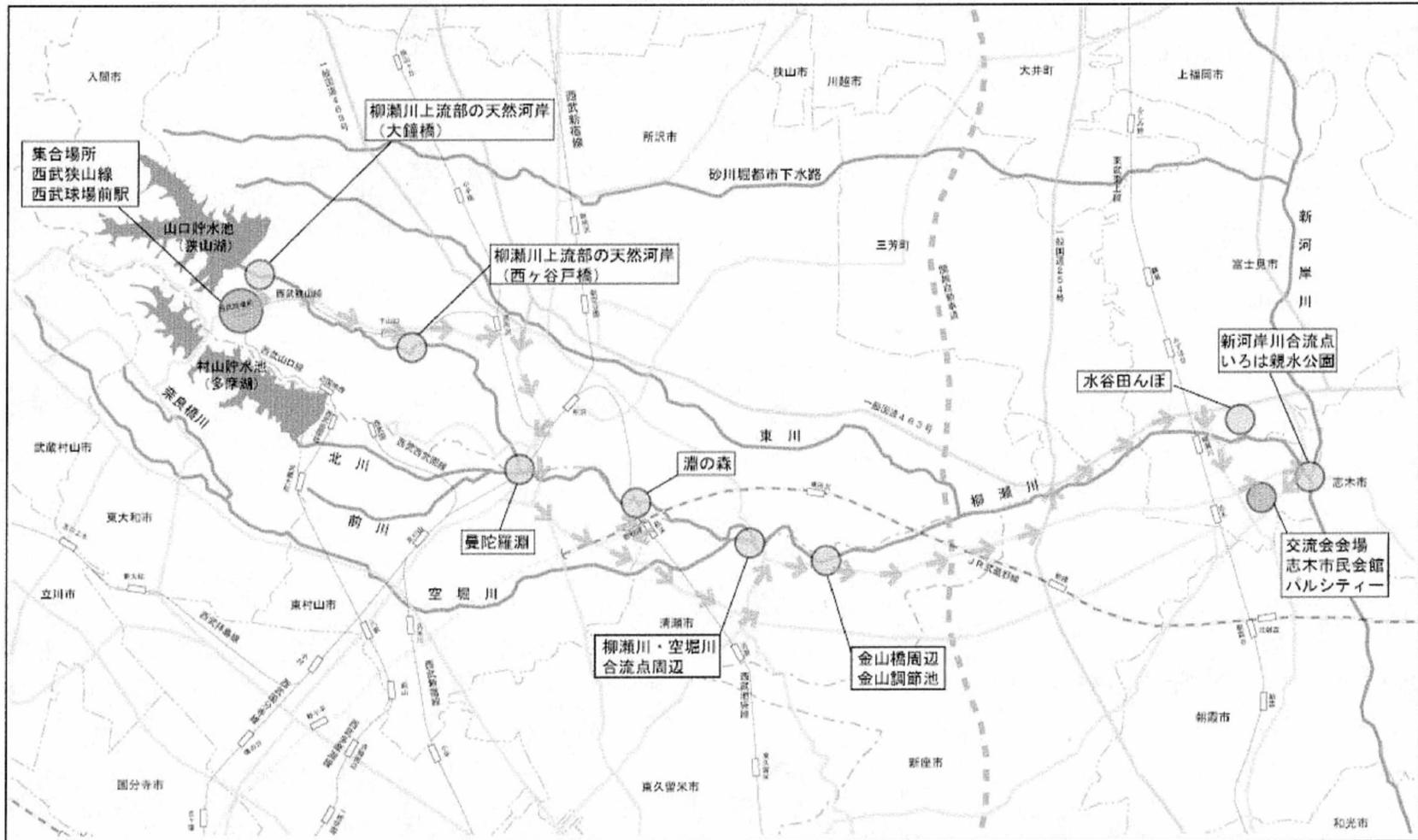
金山橋の周辺も、市民との対話の中で川づくりが行われた箇所になります。金山調節池は湧水が豊かな調節池で、多様な動植物が生息・生育しています。また、こども市民参加での維持管理が行われています。

水谷田んぼ(富士見市)

流域最大の水田が残されており、水田・湿地由来の生態系がみられます。開発計画や遊水地計画もありますが、今のところ前途は不明瞭です。

新河岸川合流点・いろは親水公園(志木市)

新河岸川と柳瀬川の合流点には親水公園が近接し、舟運を展示した資料館もあります。また近辺も市民の提案を受けた川づくりが行われました。



柳瀬川・空堀川合流地点付近河畔林や天然河岸が残ります。



金山調節池湧水が豊かな調節池です。



金山調節池や付近の河原は、多くの人々にぎわいます。



柳瀬川・東川合流地点付近急流、見学箇所に加わりました。



水谷田んぼを見学中新河岸川流域最大の田んぼです。



只今、説明中。水田・湿地由来の生態系が豊かそうです。



新河岸川合流点付近本日の見学会はここで終了です。

柳瀬川交流会の報告

見学会に続いての交流会では、東京都建設局河川部、北多摩北部建設事務所、埼玉県川越県土整備事務所、新河岸川総合治水事務所から担当者の方が出席し、柳瀬川流域水循環マスタープラン、柳瀬川流域河川整備計画（素案：東京都）についての説明や、質疑応答、意見交換などが行われました。主な意見は以下のとおりです。

柳瀬川交流会 ～意見要旨～

- ・上流部の天然河岸は貴重なものだと思っている。これをどう保全し、どう川づくりをしていったらいいのかを皆で考えていきたい。
- ・天然河岸は、将来の子供たちに本当の自然の姿を見せるという意味からも、保全することに非常に深い意義がある。
- ・東川との合流点付近の河川改修に当たっては、住民との懇談を十分にしたい。
- ・淵の森にも河川改修計画があり、それが実施されると、直線化によって森を失うことになる。今後、市民と行政がどのような川づくりを行っていかばいいか、知恵を出し合って考える必要がある。
- ・不老川と比べ水量が多いのが印象的であったが、透明度、水質という点では問題もあるように思えた。
- ・これまでの河川整備は治水、利水を中心に進められてきた。それはそれでやむを得ない時代もあったが、今後は保全と共に再生という考え方を、長い目で見ながら理解していただければと考えている。 など



見学会・交流会に参加した皆さんの感想は以下のとおりです！

- 天然河岸を何のために残すのか、その認識をきちんとしておく必要がある。子供たちにとっては、目に見える水循環の出発点が人工的なものというのはどういふものか、川本来の姿を残しておく必要がある。
- 柳瀬川には多くの川づくりの会があり、層が厚いと思った。不老川でも流域ネットワークがしっかりすればいいのですが..
- 柳瀬川の上流から最下流まで見ることができ、そこにはまだ自然が残っており、最近ではホタルが戻りつつある。魚がかなりの種類回復してきたなど、日本の都市部の川でいったん汚くなってしまったものが、自然に戻りつつある川の象徴のように思った。自然と災害(洪水)防止のバランスを如何にうまくとるか勉強になった。
- 不老川の見学会では、川の全体を把握するには見る場所が少なかったように思う。その調整は大変難しいと思うが、一考を要すると思う。川を知ると言う見学会と議論をする会は、場合によっては分けることも必要かと思う。
- 時間が足りなくて残念でしたが、とても勉強になりました。
- 交流が特に大事だと思った。行政と市民の交流(意見交換)の場ができるだけ早い段階であるといいと思う。
- 首都中心より30km〜50kmの当地域の問題は都市化による環境破壊がすすんでいるので、里山を残す事は最小限必要と思われる。
- 交流会の時間がもう少し長くともたらよかったと思う。 など

エコシティ志木主催

柳瀬川「野鳥ウォッチング」をレポートします！

NPO法人エコシティ志木さんが月に1度実施している「柳瀬川・野鳥ウォッチング&水族館」に参加してきました。「水族館」の様子については里川(Vol.24)の小島さんのレポートにもありましたので、今回は「野鳥ウォッチング」を中心にレポートします。

梅雨時というのにすっかり晴れわたった6月19日(土)に、「柳瀬川・野鳥ウォッチング」に参加しました。柳瀬川を中心に野鳥や野草を観察している山崎さん(野鳥ウォッチングには毎回参加)と、本紙表紙の切り絵でお馴染みの毛利さんに、観察コースの道々で話を伺いました。

まずは、志木中学校の前から柳瀬川の堤防上を歩いての観察です。「柳瀬川は整備された低水路に堆積した土砂に背の高い野草が繁っているの、野鳥の生息環境としてはそれなりに良いのではないのでしょうか」と毛利さん。ところが、今のところ観察できたのは、スズメやハシボソガラス、ツバメなど、いつもみられるものばかり..途中の高橋より下流は低水路への人のアクセスも難しくバードサンクチュアリ的にもなっているとのことですが、ようやく観察できたのがセキレイとコサギでは、ちょっと寂しい状況です。

「冬場は餌が少ないのでひっきりなしに飛ぶ野鳥も、夏場は餌が沢山あるのであまり飛び回らないです」と山崎さん。それでも参加者は願いを込めて、前にも観察できた、カワセミやコチドリ、イカルに会いたいと願いを込めます。いろは橋からは旧柳瀬川へと回り、数十年前までは湿地帯だったという工場敷地を一周、先程横切った高橋で柳瀬川を渡り、水谷田んぼへと向かいます。

水谷田んぼに入ると遠くの区画に1羽2羽とサギの姿が見られます。未だ遠すぎて種類までは分かりませんが、何となく期待が膨らんだその時「おっあれは何だ」と山崎さん。何とコチドリが4羽、水の引いた田んぼの中で餌をついばむ様子を観察することができました。まずは願いが叶ったと参加者は大喜び、ところが、先のサギのいた田んぼに近づいてみると、おやおや、サギは1羽2羽どころではあり

ません。数えてみればコサギ7羽にチュウサギ3羽、ひとつの区画で合計10羽のサギを観察することができました。更に驚かなかれ、その向こうの区画にはアマサギの姿を発見です。毛利さんは「20年振りに観察できた」と興奮さめやらぬ表情でした。

その後、ヒバリやカルガモの雛を観察し、富士見橋より志木中学校前へと堤防上に戻ります。「月に1度の観察を続けることで、柳瀬川に来る野鳥の違いを、季節毎や年毎に把握でき、そのことから柳瀬川の環境の変化を判断することもできるんです」と山崎さん。川やその周辺の環境が野鳥をはじめとする生物にも欠かせないものであることを実感させられた半日となりました。

約4kmを2時間半程で回るコース、冬になると沢山の野鳥を観察できるそうなので、皆さんも是非「柳瀬川・野鳥ウォッチング」に参加してみてもいいのではないでしょうか。

山崎さんのホームページ：
「MITSUHIISAのホームページ」(<http://www.cc.e-mansion.com/mitsuhiisa-y/index.html>)

柳瀬川で見られる野鳥たち！

ここでは柳瀬川で見ることのできる野鳥を少しだけ紹介します。画像は今回案内役の山崎さんのホームページよりお借りしました。今回の「野鳥ウォッチング」で観察できた野鳥以外にも沢山の野鳥を見ることができるのですね！



毛利さん大感激のアマサギです。山崎さんいわく、実は去年も観察できたとか..



コチドリです。ちょこまかと素早く動き回るので、いざ見つけても観察が大変です。



チュウサギです。嘴が黒で根本が黄色く、足が黒ければチュウサギですね！



キンクロハジロ(上)とヒバリ(下)です。ハジロは頭部の冠羽が寝癖みたいでかわいいですね！

※「川の知識Q&A」はお休みさせていただきました。次号では掲載を予定しています。お楽しみに..

● Infomation ●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

イベントカレンダー

ふじみ環境クラブ イベント情報

「縄文の森 ～コカリナ・コンサート～のご案内」

縄文時代の貝塚の遺跡が残る公園で、自然豊かだった古代のロマンに包まれながら、コカリナが奏でる木の優しい音色に癒されてみませんか。

日 時：9月4日(土) 午後3時～4時 ※雨天中止

演 奏：黒坂 黒太郎 (コカリナ奏者の第一人者)

会 場：水子貝塚公園「縄文の森」(埼玉県富士見市大字水子2003-1)

参加費：無料

問合せ：049-253-3481 (荒田) ※申込みは不要です。直接会場へお越し下さい。

主 催：水子貝塚まつり&星空シアター実行委員会、なんでもチャレンジ隊

協 力：ふじみ環境クラブ

コカリナとは...?

ハンガリー生まれの「木でできたオカリナ」です。長野オリンピックの際、オリンピック道路によって伐採されなければならなかった木からコカリナを製作、オリンピック会場でも子ども達が演奏することによって、多くの人々に知られる所となりました。小さい子どもからお年寄りまで気軽に楽しめるだけでなく、木の優しい音色を持っているため、自然環境を守るシンボリックな楽器としても大きな注目を浴びています。(NPO法人日本コカリナ協会より)



鶴瀬公民館 イベント情報

「2004 エコ探検隊 雨ってだいじ！」

雨水の大切さ、学校ビオトープ池での活用、雨水を使った池づくり... など、あなたも池をつくりませんか！ 池をつくと生き物がやってきます。

日 時：9月5日(日) 午前10時～11時半

会 場：鶴瀬公民館 いきいき活動室

講 師：大辻 晃夫 (学校ビオトープ施工管理士)

参加費：無料

問合せ：049-251-1140 (鶴瀬公民館)

※会場設営の都合上、事前に申込み下さい。

エコシティ志木 イベント情報

「お宝発見ツアー ～野火止用水と舟運を訪ねて～」

日 時：9月25日(土) 午前10時～午後3時 ※雨天中止

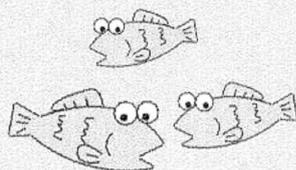
集 合：志木駅東口 丸井前 (1F)

参加費：200円 ※中学生以下は無料

案 内：天田 眞

主 催：エコシティ志木/埼玉県生態系保護協会志木支部

問合せ：048-471-4275 (毛利)



新所沢事務所通信

里川しんぶんについてや、活動についてのお問い合わせは、新所沢事務所までお気軽にどうぞ！

●開館時間

月・水・金：午後1時～午後5時

土・日・祝日：午前10時～午後5時

火・木：休館

会議などご利用になる場合は、開館時間の変更も可能です。

ご利用の方は新所沢事務所までご連絡下さい。

●連絡先

〒359-0043 所沢市弥生町2996-6 1F

新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所

TEL/FAX：04-2994-3212

里川しんぶん掲載情報大募集！

各支川流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAXで新所沢事務所までお寄せ下さい。

